

第7回アジア栄養ネットワークシンポジウム

学童の肥満予防のための施策

日時: 平成 28 年 3 月 23 日(水) 9:00~13:00
会場: 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所
共用第一会議室 (東京都新宿区戸山 1-23-1)
主催: 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所
(栄養と身体活動に関するWHO協力センター)
後援: 厚生労働省、公益社団法人日本栄養士会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会



シンポジウムの概要

1920年(大正9年)に設立された国立健康・栄養研究所は世界で最も歴史のある国立の栄養研究所であり、社会におけるニーズに応えるための栄養学研究を目指して国内のみならず、国際社会、特にアジア地域における健康および栄養上の問題解決につながる貢献を積極的に果たすことを目指しています。

当研究所が主催する国際シンポジウム「アジア栄養ネットワークシンポジウム」は、平成15年度以来隔年で開催しています。2004年1月に開催された第1回シンポジウム「生活習慣病を視野に入れた母子栄養について」に続いて、第2回「アジアにおける食事摂取基準と食生活指針について: 栄養学研究から政策へ(2006年3月)」、第3回「アジアにおける国民の健康づくりのための栄養調査と地域栄養プログラムの役割(2008年3月)」、第4回「アジアにおける栄養教育: 学校給食制度の取り組みについて(2010年9月)」、第5回「アジア太平洋地域における母子栄養とフードセキュリティ改善に向けた取り組みについて(2012年3月)」、そして第6回「健康的な食生活を目指した社会環境整備(2014年3月)」を開催し、国内外より招へいた当該分野の専門家とともに学術的な討議と活発な意見交換を行いました。

近年、世界では低栄養と過剰栄養の両方の問題が共存する Double burden of malnutrition が顕著な問題となっており、世界規模で取り組むべき最優先課題として、母子の栄養改善とともに小児肥満対策が重要視されています。我が国においても、法的制度を整え取り組んでいる「食育」の中で小児肥満対策を焦点の1つとして挙げています。このような状況の下、第7回アジア栄養ネットワークシンポジウムでは「学童の肥満予防のための施策」をテーマとして取り上げ、WHO及アジア太平洋各国の現状と今後の方向性について議論を深め、相互交流を図ることを目的としています。

プログラム

9:00 開会の挨拶 【*理事兼所長 古野純典】

9:10 シンポジウム

【座長: *国際産学連携センター長

西 信雄

WHO 西太平洋事務局

Dr. Katrin Engelhardt】

基調講演(1)「小児肥満撲滅に向けて何をすべきか」

【WHO 西太平洋事務局 Dr. Katrin Engelhardt】

基調講演(2)「学童の肥満予防のための施策」

【ディーキン大学 准教授 Dr. Colin Bell】

カントリーレポート

1. 学童の肥満対策予防: マレーシアの事例

【マレーシア国保健省 前・栄養課長 Ms. Rokiah Don】

2. 小児肥満予防の戦略: ベトナムの事例報告

【ベトナム国立栄養研究所 地域栄養研究部長
Dr. Do Thi Phuong Ha】

3. 過体重の現状と重点課題: モンゴルの事例報告

【モンゴル国保健省 栄養・食品安全政策企画調整担当官
Dr. Ganzorig Dorjdagva】

11:00~11:20 休憩

4. 小児肥満予防のための戦略: フィリピンの事例

【フィリピン国家栄養協議会 栄養情報・教育部長
Ms. Jovita B. Raval】

5. 学童の肥満予防のための戦略: フィジーの事例報告

【フィジー国立食品栄養センター 代表 Ms. Ateca Kama】

6. 日本における小児肥満の把握状況の問題点について

【*栄養疫学研究部長 瀧本秀美】

12:20 総合討論

12:50 閉会の挨拶 【*研究企画評価主幹 清水昌毅】

*当研究所関係者

シンポジウム事務局

国際産学連携センター 国際栄養研究室 三好美紀

FAX: 03-5287-3404

E-mail: mikimiy@nih.go.jp

送信先： 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所（シンポジウム事務局直通 FAX: 03-5287-3404）

平成 28 年 月 日

第7回アジア栄養ネットワークシンポジウム 参加申込書

ふりがな 氏名	
住所 所属先 もしくは 自宅	(どちらかに○をつけてください) 所属先 自宅 〒
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	
所属先	(大学、研究所、行政機関、会社など)
所属部署	
職業	研究者 栄養士 大学関係者 行政官 学生 その他 ()
参加人数	

【参加申し込み方法】

本シンポジウムはラウンドテーブル形式にて行います（使用言語：英語、同時通訳なし）。オブザーバー参加を希望される方は、平成 28 年 3 月 21 日（月）までに上記の申込用紙を FAX にて国際栄養研究室あてにお送りいただくか、担当（三好）宛てメールにて上記参加申込書内の項目をお知らせください。

また、会場の都合上、オブザーバー参加の定員を 60 名程度とさせていただきます、申込み多数の場合は先着順の受付となりますので、予めご了承ください。

問合せ先：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所

国際栄養研究室 担当：三好 (mikimiy@nih.go.jp)